

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育内容（環境） 指導法 ナンバリング：2305	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名：塚越亜希子 担当形態：単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） ／保育内容演習		
授業の到達目標及びテーマ 1.子どもを取り巻く環境と発達におけるそれらの重要性について理解し、説明することができる。 2.領域「環境」のねらい及び内容を踏まえ、子どもが経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解し、保育の構想に活用することができる。 3.領域「環境」における経験内容を理解し具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。			
授業の概要 幼稚園教育要領等に示される領域「環境」は子どもたちが「周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」ことを目指すものである。この授業では、領域「環境」のねらい及び内容についての理解を深めると共に、子どもの発達に即して深い学びが実現する過程を踏まえ、領域「環境」に関わる具体的な保育場面を想定した保育の構想および指導方法を身に付ける。			
授業計画 第1回：子どもと環境について 第2回：保育内容の全体構造と領域「環境」の展開 第3回：保育の過程（プロセス）と指導計画 第4回：「もの」とのかかわりと保育実践 第5回：「自然」とのかかわりと保育実践 ①子どもが自然とのかかわりを深めるための視点 第6回：「自然」とのかかわりと保育実践 ②自然とのかかわりの指導法 第7回：「自然」とのかかわりと保育実践 ③自然とのかかわりの指導法 第8回：「数量・図形」とのかかわりと保育実践 第9回：「標識・文字」とのかかわりと保育実践 第10回：「身近な情報」とのかかわりと保育実践 第11回：「身近な施設・地域・さまざまな文化」とのかかわりと保育実践 第12回：「行事」とのかかわりと保育実践 第13回：遊びを通した総合的な指導の展開①指導案の作成 第14回：遊びを通した総合的な指導の展開②模擬保育 第15回：領域「環境」にかかわる現代的課題と本授業のまとめ 定期試験：レポート		授業時間外の学習 <ul style="list-style-type: none"> 各回のテーマに該当する教科書のページを事前事後に目を通すこと。（60分） 参考資料に記載してある各種解説書の関連ページを予習、復習で活用すること。（30分） これまでの実習での経験や学びを活かし、環境構成や保育者の援助等、保育を展開するためのポイントを探っていくこと。 自身の身近な環境、特に自然環境に意識的に関心を向けて生活すること。 	
授業の方法 講義およびグループワーク・事例検討などを行う。 課題や提出物、レポートにはコメントを入れて返却する。			
テキスト 『実践例から学びを深める保育内容・領域 環境指導法』小櫃智子編 わかば社			
参考書・参考資料等 『幼稚園教育要領解説』・『保育所保育指針解説』・『幼保連携型認定こども園教育保育要領解説』（いずれも平成30年フレーベル館）			
学生に対する評価 授業参画度（20%）、授業内小レポート（30%）、レポート（50%）。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。			
履修上の注意 <ul style="list-style-type: none"> 1年生科目「子どもと環境」の学びを振り返り、その知識を土台として具体的な保育実践を考えていくこと。 積極的に授業に参加し、他の受講生の迷惑となる行為は慎むこと。 授業内で提示する課題等の提出期限は厳守すること。 			
実務経験の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	実務経験	元幼稚園教諭
実務経験を活かした教育内容 私立幼稚園、公立幼稚園で担任としてクラスを運営してきた経験を活かし、領域「環境」のねらい及び内容について具体的な事例をもとに解説をする。また、保育を展開していくための方法や技術について、そのポイントや指導上の留意点について具体的に講じる。			